

# 西浦校区だより

平成31年3月15日 第24号

電話73-8641 FAX73-8648

「西浦の豊かな恵みを活かし、元気で、安心安全な地域づくり」

## 平成30年度の各専門部活動を振り返って

三十年度 協力ありがとうございます

会長 本村 正一

三月に入り、春の足音が日増しに大きくなってきました。校区の皆様には、変わりなくお元気でお過ごしのこととお察し申し上げます。平成年号ももうすぐ終わりとなり、どのような年号が誕生するか楽しみです。

さて三十年度も年間の計画に沿って活動ができました。校区の皆様への御支援、御協力に感謝申し上げます。有難うございました。多くの活動の中でも本年度は最大のイベントとして、校区外の皆様へ元氣な西浦校区を発信しようと、十一月四日に「西浦学校百四十周年記念祭」を開催しました。多くの人達に参加をいただきました。初めての経験で不安と心配がありました。皆様の協力で大盛況に終わりました。三十年度は新しい試みで活動しましたが、新年度も校区の皆様へ御意見をもらいながら進めていきます。「安全・安心 元氣な西浦」をつくりましょう。

新年度も校区の皆様への御協力・御支援をくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

総務部長 伊東 奈及美

平成二十七年四月に校区コミュニティ協議会が発足し、翌々年話し合いを重ね、本年度はじめに「西浦校区まちづくりプラン」を地域の皆さまに配布することができました。

西浦は少子高齢化の影響により、将来の展望が描きにくい状況にあります。しかし、小さな可能性を繋いでいくことにより、校区を維持していくことが可能ではないかと期待をしています。

まず最初の取り組みは、SNSの活用とあいびゅーFMへの声の出演で、西浦の活動の様子を発信。これにより、西浦は元氣ですね、という言葉を何度もいただくことができました。行事の実施方法も、「例年どおり」にこだわらず、参加者数を増やして楽しめる内容を心掛けました。特に夏祭りは、毎年決まっていた八月十四日開催を十一日の山の日に変更し、蒲生町内のお店のご協力をいただき、移動販売の出店をお願いしたところ、校区外からの来場者があり、期待を上回る賑やかな夏祭りとなりました。

また、秋には「西浦学校百四十周年記念祭」を開催いたしました。準備段階では、西浦小学校に残されていた皆さんのアルバムから、貴重な落成式の様子の写真をポスターにして掲示しました。大人も子どもも着物を着ており、明治時代を感じさせるこの写真は大変反響が

ありました。また昭和の時代を垣間見られる懐かしい写真もたくさん見ることができ、四季折々の西浦の風景と、その時その時の西浦を盛り上げて来られたみなさんの笑顔から元氣をいただきました。

可愛らしく元氣な子どもたちが、現在子育て中の親となり、感慨深い思いも湧いてきました。そして、子どもたちを温かく見守ってくださった先生方と子どもたちの日常の写真は、胸が熱くなりました。

「西浦学校百四十周年記念祭」当日は、午前中に西浦小学校の学習発表会と、午後からはMBCタレントの野口たくおさんによる講演会で、西浦小学校の体育館は元氣パワーが溢れていました。そして、校区のみなさんのご協力のもと、新米おにぎり、豚汁、たくさんの野菜、PTAのみなさんによるコーヒーとお菓子の販売、各ご家庭に眠っていた新品商品のバザーの開催と盛りだくさん、校区外からもたくさんの方々にお越しいただき、充実した活動ができたのではないかと思います。

今年度は、校区外の方々に、「西浦を知ってもらおう」という思いで活動してきた一年でした。これからも校区のみなさんと一緒に、笑顔溢れる活動を企画実施していきたいと思っております。今後ともみなさまの御協力をよろしくお願いいたします。

### 本年度を振り返って

青少年育成・地域づくり部長 平田博美  
今年度は年間行事に加えて西浦学校百四十周年記念祭もあり、例年よりは忙しい一年でした。

夏祭りは毎年西浦校に帰省される方々に合わせてお盆の十四日に行っていました。他の場所に帰省する方々もいて参加者が少ない状況が続いていました。他の地区と重複しないように、十一日に行わなかったことや出店もあり、多数の人で賑わいました。さらに西浦学校百四十周年記念祭でも少年消防クラブ発足二十周年記念、出店、歴史写真掲示、MBCタレント野口たくお氏講演があったこともあり、こちらも多数の方々が来られました。そのことによって地域住民、所縁のある方々、他の地域住民にも西浦地区を知って頂くと共に、故郷を再発見する良ききっかけ作りになったと思います。

また、西浦地区に限らず、他の地区においても少子高齢化による人口減少は深刻な問題ですが、地域で育った子どもたちが地元に残り、就職して西浦を定住地にしてもらうことが一番の理想だと思います。そのためにはこれまで行ってきた

事に加え、西浦にしかないものや西浦しかない魅力づくりを地域住民一人ひとりが真剣に取り組まなければならぬ課題だと思います。

新年度を迎え、五月から新元号となりますが、新年度もこの課題を模索していかねばと考えますので、地域の皆様方の更なる御協力の程、宜しくお願いいたします。

### スポーツ振興部の一年

スポーツ振興部長 本村 信一  
スポーツ振興部では、五月にインターバレーボール大会があり、メンバーの少ない中、選手の方々は大変だったと思います。後日、懇親会を開き、来年に向けて一致団結しました。

九月には運動会がありなかなか人が集まらない状態で、種目や選手の数減らすなどしました。天気も良く楽しい1日でした。

来年度も皆様の御支援と御協力をお願いします。

### 地域福祉部一年の歩み

地域福祉部長 朝倉 小糸

私達は月一回、高齢者との交流を中心にあけしサロンを開いています。足腰は思うように動かないけど気持ちは元気なおばあちゃん達と、お茶を飲んだり、時には会食をしたりと楽しいひと時を過ごしています。歌・体操も上手になりました。脳トレゲームもします。昔を懐かしんでの歌謡曲・わらべ歌を唄いながら涙したり笑ったりと脳細胞は活発に動いていると思います。七夕の飾りつけも大山祇神社の六月燈の燈籠づくりもお手ものです。小学生との交流も楽しみでいろんな出し物を喜んで見て、肩たたきのサービスマもしてもらい、最後にはお花のプレゼントもありでひ孫のようにかわいいと満面の笑顔です。蒲生の老人会の方達のひよつとこ踊り、ギター愛好会の方々のすばらしい演奏もありで、一段と中身の濃いサロン活動が出来たように思います。

今年西浦学校百四十周年記念祭の大きな行事があり、二百食のおにぎり・豚汁作りをしました。PTAのお母さん達、婦人部の方々、地域の方々に何日も前からお手伝いをしていただき、忙しい中にも楽しくやり終えることができました。朝早くからずらりと並んだ電気釜はなかなか見ることのない光景でした。小さな西浦のコミュニティですが、大きな力を感じました。御協力いただいた方々に感謝申し上げます。

